

3. 本市の熱中症対策について

(2) 市民スポーツ活動での熱中症対策について

- ①市民総合体育館にスポットバズーカの設置を
- ②テニスコートや日除けのないグラウンド等の対策について
 - a) 日除けテントなどの設置状況について
 - b) 日除けテントなどの設置を求めて

【答弁】

ご質問の3. 本市の熱中症対策についての(2)①②につきまして、順次お答えさせていただきます。

初めに、①につきまして、市民総合体育館は昭和55年の建設以来、約40年の長い間、市民の皆さんにご利用いただいているところでございます。

昨年度の利用者は21万1,141人の皆さんがこの体育館においてスポーツを楽しんでいただきました。

議員ご指摘のように、ここ近年の猛暑はすさまじく、このような状況の中では、たとえ屋内といえども体育館のアリーナは高温多湿で、さらにスポーツ競技中の人の体温の上昇を考えると熱中症のリスクは極めて高いと考えられます。

当然、アリーナ全体を冷却できるエアコンの設置が最善とは思われますが、アリーナは1500㎡の広さがあり、相当な天井高もあることから、この広大な施設に対応できる空調機器の設置及び維持費につきましては、膨大な予算が必要となり、現実問題としては難しいと言わざるを得ません。

近隣市町村におきましても、体育館にエアコンが設置されているのは、羽曳野市のはびきのコロセアム、大阪狭山市の池尻体育館の2か所だけというのが現状となっています。

しかしながら、議員ご提案のスポットバズーカなどの設置ということであれば、全面的エアコンと比較しましても予算的にも安価で収まり、かつ競技の合い間に体を冷やすなどの一定の効果は期待できるものと考えます。

今後は、スポットバズーカ等の体育館への購入設置につきまして、他市の熱中症対策等の事例も調査し検討してまいります。

続きまして、②につきまして、熱中症の救急搬送件数は、平成29年度までは全国で5万人程度であったのに対して、昨年度は9万5千人と倍近い数字を示しております。このような状況のなかで、屋外のテニスコートやグラウンドでの熱中症対策が不可欠となっているところでございます。

総合スポーツ公園は、昨年度で多目的競技場では25,728人、テニスコートでは27,864人の皆さんにご利用いただいております。

また、その他の地域の中野町や津々山台など5つのテニスコートの平成30年度の利用者数は46,588人、喜志や西板持など12か所あるグラウンドは479,175人の皆さんにご利用いただいております。

日除けテントの設置状況につきましては、テニスコートで5か所中、中野テニスコート1か所、グラウンドでは12か所の中で川西や錦織など6か所となっております。

健康増進を目的の一つとしてご利用いただいているテニスコートやグラウンドですが、熱中症のリスクを少しでも下げて、安心してスポーツに親しんでいただくためには、議員ご提案いただいております日除けテントなどの設置は手段の一つとして大いに有効なものと考えます。今後は、他市の熱中症対策等の事例も調査し、実現に向けて検討してまいります。